様式49

回復期リハビリテーション病棟入院料〔　〕、回復期リハビリテーション入院医療管理料又は特定機能病院リハビリテーション病棟入院料の施設基準に係る届出書添付書類

入院患者の構成	平均数算出期間		年　月　日 ～ 年　月　日
	①　当該病棟（回復期リハビリテーション入院医療管理料を届出する場合にあっては当該病室）の１日平均入院患者数		名
	②　脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症、義肢装着訓練を要する状態		名
	③　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折の発症、二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態		名
	④　外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態		名
	⑤　大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷の状態		名
	⑥　股関節又は膝関節の置換術後の状態		名
	⑦　急性心筋梗塞、狭心症発作その他急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態		名
	⑧　小計（②＋③＋④＋⑤＋⑥＋⑦）		名
	入院患者の比率　　⑧／①		%
	脳血管疾患等の患者の比率　　②／①		%
常勤従事者	職　種	氏　名	専従・専任 （該当するいずれか１つに〇）
	医　師		１．専従　２．専任
	理学療法士		１．専従　２．専任
	作業療法士		１．専従　２．専任
	言語聴覚士		１．専従　２．専任　３．配置なし
	管理栄養士		１．専従　２．専任　３．配置なし
	社会福祉士		１．専従　２．専任　３．配置なし

リハビリテーション実績指数		
前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施 （該当するいずれか１つに〇）	１．あり　　２．なし	
病棟の状況	病棟種別 （該当するいずれか １つに〇）	１．一般　　２．療養
	病棟名	
	病床数	床
病棟の面積		平方メートル
	（１床当たり面積　　平方メートル）	
病室部分の面積		平方メートル
	（１床当たり面積　　平方メートル）	
病室に隣接する廊下幅		メートル
疾患別リハビリテーションの届出 （該当するすべての□に✓）	□心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ） □脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ） □脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ） □脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅲ） □運動器リハビリテーション料（Ⅰ） □運動器リハビリテーション料（Ⅱ） □呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	

［記載上の注意］

１　入院患者の構成は、直近１か月の実績について記載すること。

２　理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士については、週３日以上常態として勤務しており、かつ、所定労働時間が週22時間以上の勤務を行っている非常勤理学療法士、非常勤作業療法士又は非常勤言語聴覚士を組み合わせて配置している場合には、当該従事者の氏名の後に「（常勤換算）」と記入すること。

３　「前月の外来患者に対するリハビリテーション又は訪問リハビリテーション指導の実施」については、該当するものを〇で囲むこと。

４　常勤従事者のうち、管理栄養士及び社会福祉士について、配置されていない場合は、「氏名」の欄に「－」を記入及び「専従・専任」の欄で「３.配置なし」を選択すること。

５　リハビリテーション実績指数については、前月までの６か月間について算出した値を記入すること。前月までの６か月間についてのリハビリテーションの実績がない場合、記入は不要であること。

６　病室部分の１床当たりの面積は、１床当たり面積が最小の室についての値を記入すること。

７　「脳血管疾患等の患者の比率」については、回復期リハビリテーション入院管理料の届出を行う場合のみ記入すること。

８　当該届出に係る病棟の平面図（面積等がわかるもの）を添付すること。

９　様式５から９及び様式20を添付すること。